

事業所職員向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			・十分な広いスペースが確保されている
	2	職員の配置数は適切であるか	6	1		・基準に沿って適切に配置されている ・常にプラスの人員がいる
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	2		・ドアの前にわかりやすく案内が表示がされている。 ・バリアフリーを意識して設計がされている。 ・庭の段差は高いと思うか室内は平地であり廊下は車椅子が通れる広さも確保されている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	1		・職員の意見を取り入れながら業務改善は行っている。また全職員が共有できる体制を取っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			・評価の実施は必ず行い、振り返りや業務改善もできている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			・ホームページで公開している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	2	2	・外部からの評価は職員に周知し改善に取り組んでいる。 ・第三者委員会の設置はない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			・研修参加の機会は多く学んだことは報告書やレポートとしてまとめ他の職員にも共有している
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			・児発管が指導員の意見や評価も取り入れ作成ができている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7			・使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1		・各職員が意見を出し合い行えている。

適切な支援	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			<ul style="list-style-type: none"> ・季節に応じた活動内容を取り入れている。
						<ul style="list-style-type: none"> ・内容がワンパターンにならないよう工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7			<ul style="list-style-type: none"> ・できている。

の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			・子どもひとりひとりに合わせた計画の作成ができています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			・打ち合わせ内容やその日の情報などはLINEなどを活用し公休の職員もその情報が共有できるよう工夫している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7			・記録として残し全職員が情報共有できるシステムになっている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			・徹底できている。
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7			・できている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	6	1		・できている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			・必ず参加している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7			・その都度適切に対応できている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	4	2	・現在該当する児童がいないが必要時には体制を取ることにはできる。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7			・必要に応じて情報共有を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	1		・現在該当する児童がいないが必要時には体制を取ることにはできる。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	2		・その日の様子は記録で保護者に伝え、必要なときには送迎時に直接伝えることもしている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	3		・地域のイベントや催し物に参加し交流を図る機会は作っている。 ・児童館や近くの公園の利用で外出をするがなかなか交流は難しいと感じることがある。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	1	5	1	・機会があれば参加できる体制は取れている

28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解 を持っているか	7		<ul style="list-style-type: none"> ・ その日の様子は記録で保護者に伝え、 必要なときには送迎時に直接伝えること もしている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護 者に対してペアレント・トレーニング等の支援 を行っているか	7		<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要に応じて家庭支援を行える体制を 取っている。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			・ 契約時に説明を行っている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			・ 営業時間外でも連絡の取れる体制を作り可能な限り対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	3		・ 父母会はないが保護者参加型のイベントを開催し交流の機会を作っている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			・ 営業時間外でも連絡の取れる体制を作り可能な限り対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			・ 毎月のレターの発行やホームページで発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	7			・ している
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			・ 記録として残すなど可能な対応で配慮している。
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7			・ 機械は少ないがイベントの開催は毎年行っている。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7			・ 張り出しをして目に付く箇所に掲示している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			・ 様々な想定をした訓練が年に数回行えている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			・ 毎月行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7			・ 毎月会を開催し、報告、共有できる体制がある。該当者には適切に対応し保護者にはその都度十分に説明ができています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	2		・ 現在該当する児童はいないが共有し対応することはできる。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			・ 共有できている